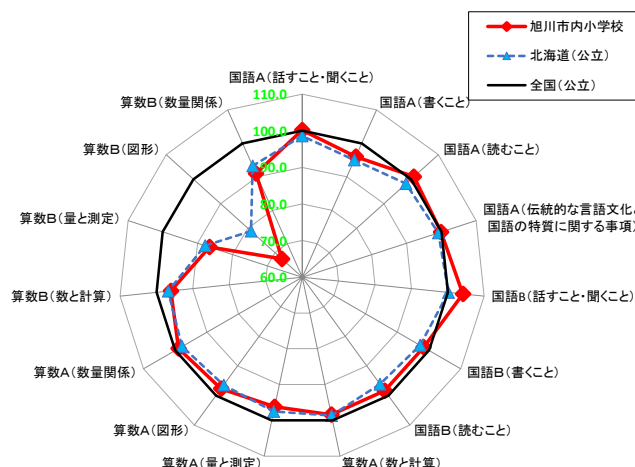


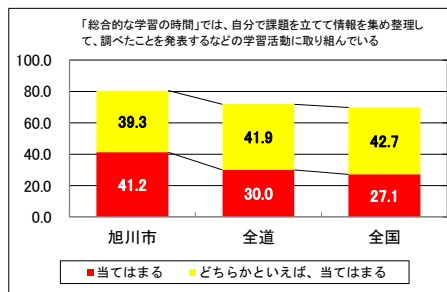
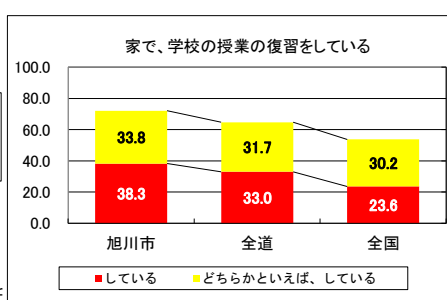
■旭川市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:54校、児童数:2428人)

【教科全体の状況】

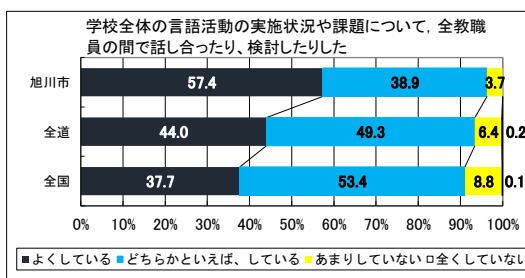
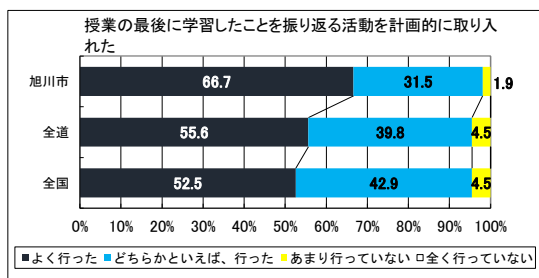
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」、Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「数量関係」、Bでは、「数と計算」で全国に最も近くなっている。	○ 授業において、見通しをもったり、振り返ったりする活動を計画的に取り入れるとともに、総合的な学習の時間等において探究的な学習に取り組んだことにより、児童の自主的に学ぶ態度が育まれたと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 家庭と連携して学校での学習内容の定着を図るため復習に取り組ませるなど、児童の家庭学習の習慣化を図ったことにより、自分で計画を立てて家庭学習に取り組む児童の割合が増加している。
学校質問紙	○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 学校全体で言語活動の充実を図ったことにより、話し合う活動を通して自分の考えを深めたり、広げたりしている児童や、話の組み立てなどを工夫して発表する児童の割合が増加している。

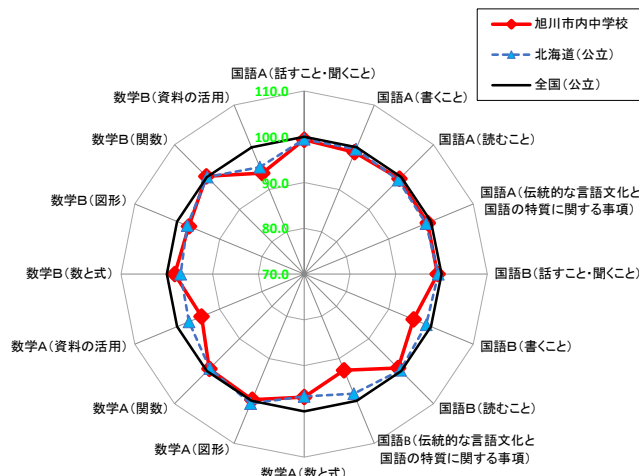
【旭川市の学力向上策】

- ◎ 重点的な3つの学力向上策「授業改善」「落ち着いた学習環境づくり」「望ましい習慣づくり」に基づく取組の推進
- ◎ 国語、算数・数学及び学力向上を担当している教員とで構成した授業力向上プロジェクトチームによる全国学力・学習状況調査結果の分析を踏まえた「旭川版 指導の改善策」の作成と各学校・各種研修会等での活用
- ◎ 授業力向上プロジェクトチームメンバーを講師及び授業者とした、年3回の授業力向上研修会の実施
- ◎ 小・中学校各2校を指定する旭川市授業力向上実践研究推進事業の推進
- ◎ 「9年間つなげてみよう教育活動シート」の活用による小中連携・一貫教育の推進
- ◎ 学生ボランティア等の市内小・中学校への派遣によるきめ細かい指導の充実
- ◎ 市内の全中学校から生徒会役員を中心とするメンバーが集まり協議した「生活・学習Actサミット」による、児童生徒自らが生活習慣及び学習習慣を改善する取組の推進

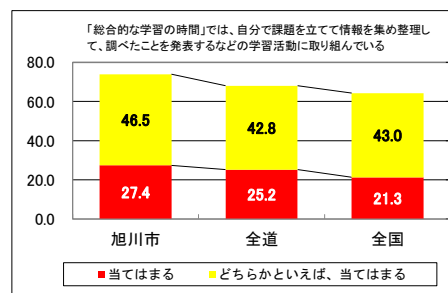
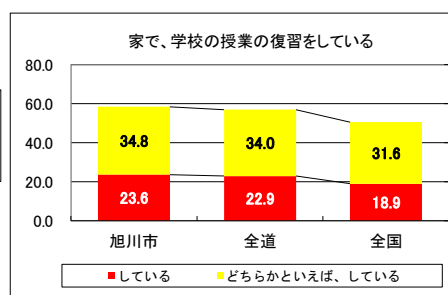
■旭川市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:27校、生徒数:2384人)

【教科全体の状況】

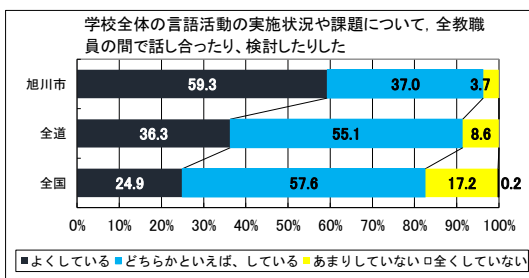
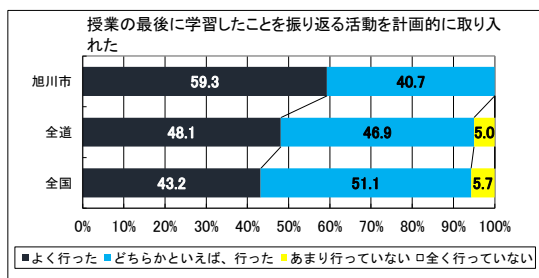
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語Aでは、「読むこと」、Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国に最も近くなっている。 ○ 数学Aでは、「図形」で全国に最も近く、Bでは、「関数」で全国を上回っている。	○ 授業において、見通しをもったり、振り返ったりする活動を計画的に取り入れるとともに、総合的な学習の時間等において探究的な学習に取り組んだことにより、生徒の自主的に学ぶ態度が育まれたと考えられる。
生徒質問紙	○ 「家で、学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 家庭で、学校の授業の復習を行うよう指導するなど、学習習慣の定着に向けた取組を進めていることから、今後の学習内容の定着が期待できる。
学校質問紙	○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 学校全体で言語活動の充実を図ったことにより、相手の話を最後まで聞き自分の考えをしっかり伝えたり、話の組み立てなどを工夫して発表したりする生徒の割合が増加している。

【旭川市の学力向上策】

- ◎ 重点的な3つの学力向上策「授業改善」「落ち着いた学習環境づくり」「望ましい習慣づくり」に基づく取組の推進
- ◎ 国語、算数・数学及び学力向上を担当している教員とで構成した授業力向上プロジェクトチームによる全国学力・学習状況調査結果の分析を踏まえた「旭川版 指導の改善策」の作成と各学校・各種研修会等での活用
- ◎ 授業力向上プロジェクトチームメンバーを講師及び授業者とした、年3回の授業力向上研修会の実施
- ◎ 小・中学校各2校を指定する旭川市授業力向上実践研究推進事業の推進
- ◎ 「9年間つなげてみよう教育活動シート」の活用による小中連携・一貫教育の推進
- ◎ 学生ボランティア等の市内小・中学校への派遣によるきめ細かい指導の充実
- ◎ 市内の全中学校から生徒会役員を中心とするメンバーが集まり協議した「生活・学習Actサミット」による、児童生徒自らが生活習慣及び学習習慣を改善する取組の推進